

**PRESTIGE**INTERNATIONAL

# INTERIM FINANCIAL REPORT

**2020** | 2020年4月1日～2020年9月30日



## ニューノーマルでの 成長に向けて

代表取締役 玉上 進一

株主の皆様には平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループの第35期上期(2020年4月1日～2020年9月30日)の報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当社グループの2021年3月期第2四半期における業績について、連結売上高に関しては19,739百万円(前年同期比4.6%減)となりました。営業利益につきましては、人員の再配置とコストコントロールを徹底した結果、2,611百万円(前年同期比8.0%増)となりました。海外事業については一部海外での新型コロナウイルス感染症の再拡大が影響し、回復の見込みは依然不透明な状況が続いておりますが、「継続的・安定的な成長」に向けての活動を継続してまいります。

当社グループの経営の根幹は「人」によるサービスにあると認識しております。地方都市、特に東北地方における拠点開拓を行い、雇用の創造を継続していくことを社会貢献方針に掲げております。地域に密着し、愛される企業として知名度を向上させるべく、それぞれの地域での最良な職場環境を整え、品質の向上、業務の安定化を目指しております。今後は、アウトソーシング×ITの融合を重要視し、より分かりやすく使いやすいシステムを構築し、スピーディなサービス提供を目指し「人でしかできない仕事」に集中するための投資を積極的に実施してまいります。

### 次期中期経営計画に向けた持続的な成長

#### コロナの状況

新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界各国で経済活動が制限され多大な影響を及ぼしている中、当社グループでは今までの既成概念を払拭し、新しい時代で必要とされるサービスの創造が必要と考えております。主事業となるオートモーティブ事業やプロパティ事業については緊急事態宣言中、現場対応の案件数が一時的に落ち込みましたが、現在回復傾向にあり国内の事業は安定しつつあります。グローバル事業においては、感染が再拡大している国もあり回復までには時間を要しますが、駐在員の方々は徐々に赴任先へ戻っており、ニーズは依然高いため、海外拠点のネットワークを維持できるよう努めております。

新しい時代における「PIでしか実現できないサービス」「社会から必要とされるサービス」を創造、発展させ、継続的且つ安定的な成長の実現に努めてまいります。

#### 拠点のポジショニング

コロナ禍において社会・経済活動の在り方に変化が生じ、これまで当たり前と考えられてきた行動が変容しました。

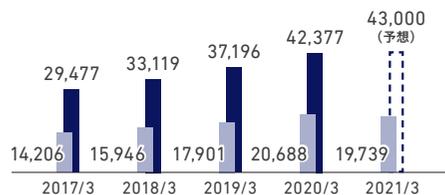
当社グループの特徴である地方都市でのBPO拠点の設置により、安定した事業を継続しておりますが、「PIでしか実現できないサービス」を創造するためには、大胆な構造改革を行っていく必要があると考えております。当社グループが変化に対応するべく、本社機能の拠点移管を進めることが事業安定に資すると判断し、実行に移すことでクライアント企業からの業務拡大および有事の業務継続計画への対応ができると共に、さらに強固な経営基盤を構築できるものと考えております。

2020年5月に富山トレーニングフィールドが開設し、2021年3月には山形BPOパーク、そして2022年3月には秋田BPOにかほキャンパス、さらに2024年には岩手県一関市にも新センターを開設する予定であります。地方都市での人財、特に若年層の流出による人口減という社会的問題を解決するべく、拠点を増やすことにより点から面で採用できるようになり、優秀な人財の獲得を継続してまいります。

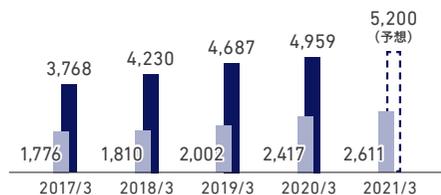
これまで以上にスピーディな対応が求められる世の中となっていくことを理解し、常に課題を持ち、新たな成長戦略を生み出してまいります。

## 財務パフォーマンス

売上高(百万円) ■ 2Q ■ 通期

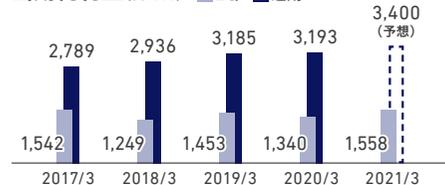


営業利益(百万円) ■ 2Q ■ 通期



親会社株主に帰属する

当期純利益(百万円) ■ 2Q ■ 通期



1株当たり配当金(円) ■ 2Q ■ 通期



※1 2016年10月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。  
 ※2 2019年10月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。  
 ※3 1株当たりの配当金は株式分割後の基準で換算しております。

### 当期のポイント

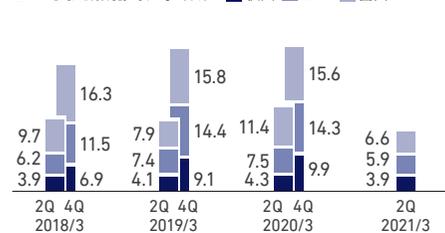
連結売上高に関しましては、主にオートモーティブ事業とグローバル事業が新型コロナウイルス感染症の影響を受け、19,739百万円(前年同期比4.6%減)となりました。営業利益に関しましては、継続して費用の抑制・削減を実行した結果、グループ全体としては2,611百万円(前年同期比8.0%増)となりました。経常利益に関しましては、前年同期と同水準に回復し、2,629百万円(前年同期比1.3%増)となりました。この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益も、1,558百万円(前年同期比16.2%増)となりました。

海外での事業において、一部の国では新型コロナウイルス感染症の再拡大もあり、個人活動の低減・クレジットカード利用の減少等のリスクが今後も継続することが予想されますが「継続的・安定的な成長」の実現を継続するべく、様々な施策に取り組む方針です。

新たなビジネスモデルの創出やIT投資による効率化など、独自性が高く訴求力のあるサービスを提供し続けることにより、クライアント企業の拡大に努めてまいります。その一環として、地方都市で500席規模のコンタクトセンターの建設を継続し、業務拡大要請や有事に備えたオペレーションの複数拠点化の先行投資を積極的に行う方針です。

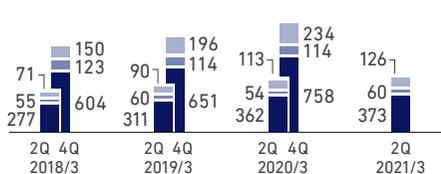
## 非財務パフォーマンス

BPO拠点離職率(%) ■ 秋田 ■ 山形 ■ 富山



フィールド手配件数(千件) ■ PR ■ PH ■ PP

当社連結子会社である株式会社プレミアアシストの現場対応のPREMIER Assistによる、それぞれの事業の略称となります。  
 PR…ロードアシスト PH…ホームアシスト PP…パークアシスト



BPO席数(席) ■ 秋田 ■ 山形 ■ 富山



※1 秋田には横手・にかほの座席を含む  
 ※2 山形には鶴岡含む

### 当期のポイント

当社のビジネスを支える地方BPO拠点は、いずれの拠点も優秀な人材の獲得、管理者の人財育成、そして退職抑制施策や健康経営、女性活躍推進といった働きやすい職場環境づくりに尽力しています。富山BPOタウンにおいては、これまで他拠点よりも退職率が高く課題を抱えておりましたが、退職抑制施策の効果が表れ、2020年9月時点の退職率は前年同期と比較し4.8ポイント抑えることができました。今後の国内拠点展開の計画としては、2021年3月に現在の山形BPOガーデン(500席)に500席増加し1,000席規模となる山形BPOパークを、2022年3月に秋田県3拠点目となる秋田BPOにかほキャンパス(500席)の開設を控えています。さらなる需要に応えるべく、2024年には東北太平洋側では当社初進出となる岩手県一関市に、500席規模の新拠点の開設を予定しています。特徴としては、これまでのBPO機能に加えITを用いた効率化等を重要視しており、当社のIT分野において最大の拠点となる予定です。

フィールド手配件数においては、第1四半期中に発令された緊急事態宣言による外出自粛の影響でロードアシストの件数が一時的に落ち込んでおりましたが、第2四半期にかけて前年水準並みに回復してまいりました。ホームアシストおよびパークアシストを含め、上半期の全体的な手配件数は昨年を上回っており、好調なパフォーマンスを実現しています。

今後は「健康経営」や「女性活躍推進」といった取り組みに注力し、新しい時代に向けて「人でしかできない」P1らしいサービスを提供してまいります。

プレステージ・インターナショナルグループでは、2020年4月より事業セグメントの再編を行い、オートモーティブ・プロパティ・グローバル・カスタマー・総合保証・IT・ソーシャルの7つの事業セグメントとしました。



### オートモーティブ

自動車関連サービス



### プロパティ

不動産関連サービス



### グローバル

海外関連サービス



### カスタマー

コンタクトセンター業務

売上高	96億28百万円	前期比 6.1%減	26億13百万円	前期比 3.1%増	22億96百万円	前期比 25.8%減	24億76百万円	前期比 12.4%増
営業利益	14億19百万円	前期比 13.6%増	2億80百万円	前期比 24.6%増	1億98百万円	前期比 59.9%減	2億63百万円	前期比 219.0%増
決算のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内における活動自粛の影響を受け、減収。</li> <li>コストコントロールを徹底した結果、増益。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>主に不動産向けサービス(ホームアシスト)における既存受託業務の成長により、増収。</li> <li>先行投資が一巡し、増益。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響により海外渡航者の減少、クレジットカード利用額の減少等を受け、減収減益。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>既存受託業務の成長により、増収。</li> <li>不採算案件の解消により、増益。</li> </ul>	



### 総合保証

保証サービス



### IT

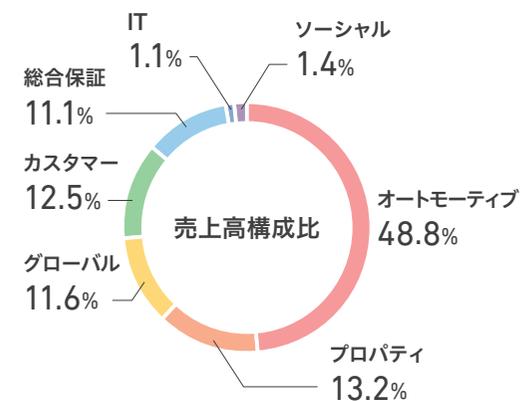
IT関連サービス



### ソーシャル

社会貢献サービス

売上高	21億98百万円	前期比 6.1%増	2億22百万円	前期比 36.0%減	3億2百万円	前期比 66.0%増
営業利益	5億44百万円	前期比 1.2%増	56百万円	前期比 19.4%減	▲1億46百万円	前期比 40.1%増
決算のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ会社である株式会社イントラストが経営する総合保証プログラムが堅調に推移し、増収増益。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>前期開発案件が一巡し、減収減益。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>発達障害児支援プログラムでの会計処理の影響がなくなり、売上高は増収、営業利益は赤字幅が縮小。</li> </ul>	



## 岩手県一関市に新BPO拠点設立決定

この度、岩手県一関市への新たな進出を発表しました。これまでのBPO機能に加え、ITを用いた効率化等を重要視することを検討しており、IT分野においては最大の拠点となる予定です。2021年4月には仮センターにて操業を開始し、2024年3月には本センターの操業を予定しています。

## 拠点展開戦略のポイント

## 1 アウトソーシング×ITを強化した拠点

「人でしか実現できない」サービス領域を深めていくためには、ITを活用した効率化が重要です。当社独自のITシステムを提供することは、クライアントに価値を認めていただき、長期間の関係を構築するにおいて非常に有効な方法となります。また、新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえIT投資を継続し、「新しい生活様式」を共有できるワークスタイル構築を目指します。

## 2 地方都市での雇用継続

一関市は東京から東北新幹線で2時間程、また、建設予定地は一ノ関駅より車で10分程の場所に位置しており、人財の確保においても日本海側に比べ人の移動もしやすいと考えています。2018年3月期に発表した中期経営計画でも掲げている地方都市での雇用の創造・維持という社会貢献活動に基づき、流動化する人財の受け皿として地域経済の一員としての役割を果たしてまいります。

## 3 クライアント企業のBCPニーズの獲得

新型コロナウイルス感染症の影響により、大都市圏での感染リスクが顕在化し、テレワークなど新たなワークスタイルが求められています。このような状況の中、事業継続を目的とした地方都市での業務運用に対する需要が高まることが想定され、当社のように地方都市でのバックアップ運用に対するクライアントの関心が高まってきていると感じています。



新潟BPO魚沼テラス

所在地	新潟県魚沼市
総席数	200席
キャパシティ率	66.3% (現在は80席)
女性比率	66.0%



秋田BPOメインキャンパス

所在地	秋田県秋田市
総敷地面積	約46,000m <sup>2</sup>
総席数	1,500席
キャパシティ率	96.7%
女性比率	71.0%



秋田BPO横手キャンパス

所在地	秋田県横手市
総敷地面積	約36,506m <sup>2</sup>
総席数	500席
キャパシティ率	59.6%
女性比率	75.8%



富山BPOタウン

所在地	富山県射水市
総敷地面積	約64,000m <sup>2</sup>
総席数	1,000席
キャパシティ率	64.7%
女性比率	78.3%

新拠点

岩手BPOセンター (仮称)

所在地	岩手県一関市
総席数	500席
操業	2024年3月(予定)



山形BPOパーク (2021年3月開設予定)

所在地	山形県酒田市
総敷地面積	約53,912m <sup>2</sup>
総席数	1,000席
キャパシティ率	116.4% (※現在は500席)
女性比率	77.2%

※ キャパシティ率・女性比率は2020年9月末現在の数字です。

## 地域と共に成長する女子スポーツチーム



「地域を元気にしたい」「女性の活躍を応援したい」という思いから、  
2015年に女子スポーツチームを設立しました。

2015年度設立

### 秋田女子バスケットボール

2018年度より地域リーグへ参戦中。2021年度より、設立以来の目標であったWリーグへの参戦が決定しました。



2015年度設立

### 山形女子バレーボール

2018年度のリーグ改革により、V.LEAGUE DIVISION2 WOMENへ参戦中。V1リーグへの昇格を目指します。



2016年度設立

### 富山女子ハンドボール

2017年度より日本ハンドボールリーグへ参戦中。上位4チームにより行われるプレーオフ進出を目指します。



## オールアランマーレプロジェクトイベントを開催

富山県射水市にて、初の3チーム合同イベントを開催しました。本イベントは、3競技の体験を通し、各競技の魅力を伝えると共に、アランマーレの活動を知ってもらうことを目的として実施されました。当日は、富山県内の小学生約50名が参加。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながらの開催となりましたが、コロナ禍でこうしたイベントが減っていた中、久しぶりの機会に子供達の笑顔も多く見ることができました。今後も、チーム毎の活動にとどまらず、3チーム一体となった「オールアランマーレプロジェクト」の取り組みを積極的に進めていきます。



## 企業内保育園の特性を生かした取り組み



オランジェリーでは「生き抜く力を育む」を保育理念に掲げ、  
未来を担う子供達の主体性や自立心を育てていくと共に、  
従業員が安心して働ける環境づくりに尽力します。

秋田  
「育休ママの集い」開催

育児休暇中の従業員には、  
長期間会社から離れている  
ことで復職に対する不安や、  
育児と仕事の両立の不安を  
抱えている方も多くいます。  
秋田ではその不安を解消す  
るため、子供と一緒に参加で  
きる「育休ママの集い」を開催  
しています。

- チームとの近況報告会  
会社やチームの状況を把握し、復職に  
対する不安解消につなげます。
- ランチ会  
おいしいランチを食べながら育児経験の  
ある従業員や保育士とのトークタイム。  
育児と仕事の両立不安解消につなげます。
- 会社からリフレッシュタイムを提供  
イベント終了後は子供をオランジェリー  
でお預かりし、従業員にはリフレッシュ  
タイムを提供します。

山形  
ちびっこ応援団

プラカードを持ったちびっ  
こ応援団が会社へ出向き、  
働く従業員へ応援メッセー  
ジカードをプレゼントして  
います。子供達のかわいい  
姿に元気もらえると、従業  
員から好評をいただいで  
います。

富山  
ちびっこアートの世界へようこそ

オランジェリーの活動  
PRと子供達の成長を見て  
いただくため、毎年作品展  
示会を開催しています。  
従業員も楽しみにしてい  
るイベントの一つです。

横手  
従業員から紙芝居をプレゼント

「いつも子供達から癒し  
と元気をもらっています。」  
という声とともに、感謝の  
気持ちが込もった紙芝居を  
従業員からプレゼントして  
いただきました。



## 株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、  
アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、  
アンケートへのご協力をお願いいたします。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)  
を進呈させていただきます

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示される  
アンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <https://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 4290

いいかぶ 検索

 空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。  
(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用の  
URLが直ちに自動返信されます。

 携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電  
話をお使いの方は、右のQRコードからも  
アクセスできます。  
QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供  
する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社  
a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承  
諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。(1809)

アンケートのお問い合わせ  
「e-株主リサーチ事務局」

MAIL: info@e-kabunushi.com

# 会社情報

CORPORATE INFORMATION

## 会社概要 (2020年9月30日現在)

会社名 株式会社プレステージ・インターナショナル  
 Prestige International Inc.  
 設立 1986年10月  
 資本金 14億9,633万円  
 本社所在地 〒102-0083  
 東京都千代田区麹町二丁目4番地1  
 事業内容 ビジネス・プロセス・アウトソーシング  
 従業員数 4,207名(連結)  
 拠点 世界18カ国23拠点  
 URL <http://www.prestigein.com/>

## 会社役員 (2020年9月30日現在)

代表取締役 玉上 進一  
 取締役 関根 浩  
 取締役 大坂 有紀  
 取締役(社外) 岩瀬 香奈子  
 取締役(社外) 服部 義一  
 監査役(常勤) 一條 和幸  
 監査役(常勤) 石野 豊  
 監査役(社外) 神門 いづみ  
 監査役(社外) 原 勝彦

## ネットワーク (2020年9月30日現在)



### 国内

株式会社プレステージ・コアソリューション  
 株式会社プレステージ・グローバルソリューション  
 株式会社プレステージ・ヒューマンソリューション  
 タイム・コマース株式会社  
 株式会社プレミアアシスト  
 株式会社プレミアアシスト・ネットワーク  
 株式会社プレミアライフ  
 株式会社イントラスト  
 株式会社プレミアIT&プロセスマネジメント

株式会社プレミア・クロスバリュー  
 株式会社プレミアロータス・ネットワーク  
 株式会社プレミア・ケア  
 株式会社プレミアビジネステクノロジー  
 株式会社プレミア・エイド  
 株式会社プレミア・インシュアランスパートナーズ  
 株式会社プレミア・インシュアランスソリューションズ  
 株式会社P・EISインシュアランステクノロジー

### 米州・欧州

Prestige International USA, Inc.  
 Prestige International U.K. Ltd.  
 PRESTIGE INTERNACIONAL  
 DO BRASIL LTDA.

PRESTIGE INTERNACIONAL  
 MÉXICO LTDA

### アジア・オセアニア

Prestige International (S) Pte Ltd.  
 P.I. PHILIPPINES, INC.  
 JAPANESE HELP DESK INC.  
 PRESTIGE INTERNATIONAL CHINA CO., LTD.  
 PRESTIGE INTERNATIONAL  
 (THAILAND) CO., LTD.  
 P.I. Assitance (Thailand) CO., LTD.  
 Prestige International (HK) Co., Limited  
 Prestige International (Taiwan) Co., Limited  
 PRESTIGE INTERNATIONAL  
 AUSTRALIA PTY LTD.

P.I. PRESTIGE INTERNATIONAL INDIA  
 PRIVATE LIMITED  
 JHD MED-AID INC.  
 P.I. PRESTIGE INTERNATIONAL  
 (CAMBODIA) CO., LTD  
 P.I MYANMAR PTE LIMITED  
 PRESTIGE INTERNATIONAL (M)  
 SDN. BHD.

グ  
ル  
ー  
プ  
会  
社

関  
連  
会  
社

株式会社プライムアシスタンス  
 (SOMPOホールディングス株式会社)  
 とのジョイントベンチャー

株式会社ファーストリビングアシスタンス  
 (野村不動産ホールディングス株式会社)  
 とのジョイントベンチャー

## 株式の状況

(2020年9月30日現在)

発行可能株式総数 427,008,000株  
 発行済株式総数 128,054,600株  
 株主数 3,780名

## 大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社タマガミインターナショナル	33,848,800	26.43
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	13,116,700	10.24
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニー レギュラーアカウント (常任代理人 ゴールドマン・サックス証券株式会社)	10,424,389	8.14
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	8,071,000	6.30
玉上 進一	3,470,100	2.71

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT (常任代理人 香港上海銀行東京支店 カストディ業務部)	2,963,742	2.31
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC) (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	2,648,776	2.07
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE UKDU UCITS CLIENTS NON LENDING 10 PCT TREATY ACCOUNT (常任代理人 香港上海銀行東京支店 カストディ業務部)	2,396,500	1.87
ザバンク オブ ニューヨーク・ジャスディック トリートリー アカウント (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	1,978,400	1.54
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNY GCM CLIENT ACCOUNTS M LSCB RD (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	1,967,049	1.54

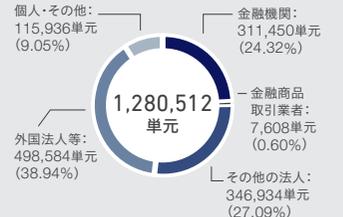
## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで 株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社  
 諸手続きに関しては、みずほ信託銀行株式会社の  
 ホームページをご参照の上、行っていただきますよう  
 お願いいたします。  
 定時株主総会 毎年6月 ※2020年は7月  
 上記基準日 3月31日 ※2020年は6月10日  
 その他臨時に必要がある場合には、  
 あらかじめ公告いたします。 同連絡先  
 配当金受領 期末配当 3月31日  
 0120-288-324(フリーダイヤル)  
 (ご利用時間 9:00~17:00 土・日・休日を除く)  
 株主確定日 中間配当 9月30日 公告掲載方法 電子公告

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問合せ先	お取引の 証券会社になります。	0120-288-324(フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社本店及び全国各支店 みずほ証券株式会社本店及び全国各支店

## 所有者別株式分布状況

(2020年9月30日現在)



### ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、みずほ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、みずほ信託銀行にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行でお支払いいたします。